

「人の心に寄り添える演奏がしたい」。臨床医を目指しながら、ヴァイオリニストとしての演奏活動を続けている。国際コンクールなどでの入賞を重ね、五嶋みどり氏ほか多くの世界的ヴァイオリニストのレッスンを受けたこともある。現在力を入れているのがArts Meet Science (AMS) プロジェクトでの活動だ。これは東京藝術大学の学生に東京大学や慶應義塾大学などの医学生が加わって、芸術と科学の協働の可能性を探る学術プロジェクト。両分野の接点についてディスカッションを重ね、芸術を医療に活かす方法を考えて実践を目指す。「自分も音楽に助けられてきました。音楽の力を信じています」。夏には、音楽療法で先進的な取り組みをする米国の病院の視察を行い、学びを深める予定だ。

